



## JAMCA ニュース

No.110

2021年7月1日

発行  
協会事務局

編集事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会  
〒160-0015 東京都新宿区大京町31  
ヴィップ新宿御苑 ☎03-3356-7066  
〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3  
☎03-3601-2535 FAX 03-3601-2988  
ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

## 一級自動車整備士の展望

専門学校 広島自動車大学校 学園長  
全国自動車大学校・整備専門学校協会理事

古澤 敏昭



2003年に一級自動車整備士の国家試験実施が現実動きはじめてから今日（令和元年度合格者）まで、一級自動車整備士の累計合格者数は約17,000人と1万人を超えました。しかし、首都圏での一級自動車整備士の志望者が安定的に増えている一方で、地方ではまだまだ志望者が少ないのが現実です。この現状を鑑みると、一級自動車整備士の必要性が浸透し、全国的に志望者が多くなっている、とは決して言えないのではないのでしょうか。今回は、一地方の学校の小さな不満ではなく、今後全国的に一級自動車整備士が発展するためにどうすればよいのかを考え、また、このままでは一級自動車整備士の重要性が廃れるのではないかと危惧から筆を取らせていただきました。以下の文書で、JAMCA加盟校の皆様が共通して認識していることをあえて文字にさせていただきます。

少し過去を振り返ってみますと、20年ほど前は、ほとんどの新生が「車そのものが好き」、「車を運転するのが好き」などの理由で入学してきたと感じていました。しかし、現在は一般的に言われている「車離れ」も原因の一つであると思いますが、必ずしも「車好き」の学生ばかりではないように感じています。自動車整備士を目指す学生を増やすためには、「車が好きだから」という理由だけではなく、優良な職業選択の一つとして自動車整備士が選ばれる存在にならなければ

なりません。そうでなければ業界として生き残れないのです。中・高校生が職業を選ぶ際に考慮するのは、小さいころからの夢もさることながら、優良な職業としての社会的位置付け、やりがいなどではないのでしょうか。社会的位置付けを左右する要因のひとつは所得（給与）であり、やりがいはその職業が人々の人生、生活を支えるものであるかどうかに関係すると考えられます。これまでの自動車整備士の業界は、これらの面で十分な位置付けにあるとは言えません。もちろん、社会を支える重要な職業ですが広く社会に認知されているかどうかには疑問があります。中川会長が常々発言していらっしゃる『自動車整備士が「若者に夢と希望を与える職業」』であると多くの人に認知してもらう突破口が「一級自動車整備士」だと私は思うのです。

ここで、近未来的に視野を広げてみますと、自動車を取り巻く環境は大きく2つの潮流があるように思えます。一つは自動運転のシステムの向上、もう一つは従来のレシプロエンジンからの脱却です。

自動運転に目を向けてみると、先日HONDAが自動運転カテゴリ3の車を発売するとの報道がありました。今後の投資的な意味合いを感じますが、現行の法律では事故等が起こった場合の責任がメーカーにあります。つまり、メーカーが正常なシステムを維持していることが前提となっている

のです。では全国、全世界で今後多くの自動運転の車が走り回る中、その車のシステムを維持・向上を担うのは誰でしょうか。いうまでもなく自動車整備士です。思うに、その中でも一級自動車整備士がそれを担うべきなのではないのでしょうか。

レシプロエンジンからの脱却について考えると、現在有力な候補は電気自動車です。しかし、40年50年のスパンで考えると、さらに新たな機動系のもので生まれる可能性が十分にあると思われれます。在学生、これから入学を考えている若者が整備（自動車）業界で活躍する期間は40年間以上になるでしょう。その間の社会構造の変化、若者（人々）の価値観の変化、急速な技術革新という、様々な環境変化に対応するためには、高度な知識と技術が必要です。このことから、一級自動車整備士がその一翼を担っていかなければならないと考えています。私は少しでも早く一級自動車整備士の法的立場が明確になり、多くの若者が胸をはって「一級自動車整備士」を目指せることを願っています。

## CONTENTS

- 2面 日産、次世代e-POWER用エンジンで熱効率50%を実現可能に!
- 3面 クルマ大好き!・活躍!! 女子! 卒業生
- 4面・5面 脚光を浴びる 日本自動車工業会の活動
- 6面・7面 協会トピックス・アイドルタイム・地区通信
- 8面 私の教材活用・お知らせ・編集後記